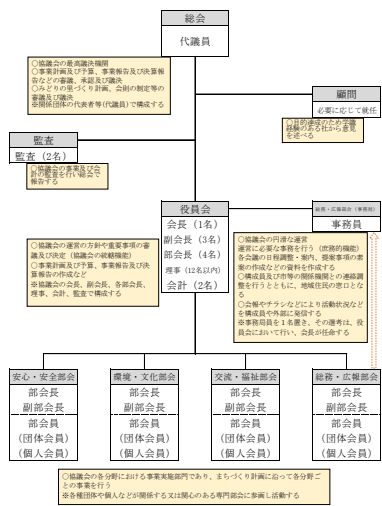
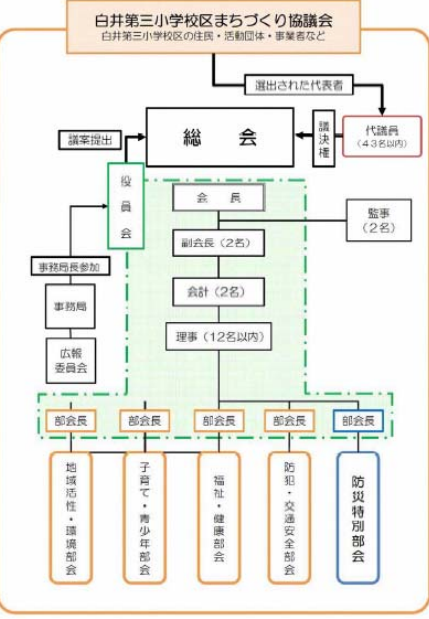
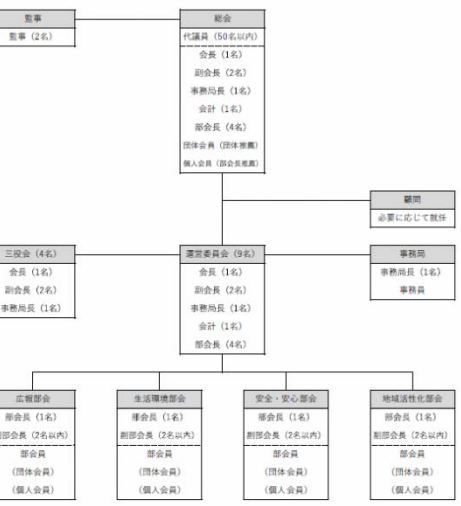


①名称	第二小学校区みどりの里づくり協議会	第三小学校区まちづくり協議会	大山口小学校区まちづくり協議会
②設立・会長	令和4年1月・小林 正継	令和4年2月・富沢 賢司	令和4年2月・成田 秀雄
③主な構成団体	自治連合会小学校区支部、民生委員・児童委員、地区社協、高齢者クラブ、青少年相談員、PTA、小学校、消防団、工業団地協議会、地域活動団体、まちづくりプロジェクト	自治連合会小学校区支部、地区社協、富士センター運営協議会、民生委員・児童委員、PTA、小学校、消防団、防災連合準備会、交通指導員、防犯指導員、高齢者クラブ、保育園、商店会、公募委員	自治連合会小学校区支部、地区社協、民生委員・児童委員、青少年相談員、PTA、小学校、高齢者クラブ、地域活動団体、公募委員
④組織体制	<p>5. 白井第二小学校区みどりの里づくり協議会組織図</p>  <p><b>【4部会】</b>  安心・安全部会  環境・文化部会  交流・福祉部会  総務・広報部会</p>	 <p><b>【5部会】</b>  防災特別部会  防犯・交通安全部会  福祉・健康部会  子育て・青少年部会  地域活性化・環境部会</p>	 <p><b>【4部会】</b>  安全・安心部会  生活環境部会  地域活性化部会  (広報部会)</p>
⑤広報	頻度 四半期に一度 配布方法 自治会長に依頼し全戸配布 主な内容 ・メンバー紹介 ・活動紹介 その他PR ホームページ開設	頻度 不定期(目安は四半期に1度) 配布方法 地域新聞に委託(予定)・ポスティング 主な内容 ・メンバー紹介 ・活動紹介 ・イベント参加者募集 その他PR ・インスタグラム ・X(旧Twitter)	頻度 不定期 配布方法 まち協メンバーによる手渡し。 主な内容 ・メンバー紹介 ・(構成団体含)活動紹介 ・今後の予定 その他PR フェイスブック
⑥R4主な取り組み(費用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の実施(0円)</li> <li>・青色防犯パトロール(7.5万円)</li> <li>・ごみゼロ運動(13.5万円)</li> <li>・下手賀沼の外来植物の駆除の支援(0円)</li> <li>・カレンダー作成(4.9万円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の開設訓練を行う防災訓練(市共催)(24万円)</li> <li>・第三小学校の児童を対象に夏休みの課題として交通安全標語・ポスター募集(5.7万円)</li> <li>・バス停ベンチを設置(2.6万円)</li> <li>・高齢者向けアンケート(8.7万円)</li> <li>・子供向けのイベント(12.7万円)</li> <li>・まちピカ大作戦(ゴミ拾い)(11.8万円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の開催事業(0円)</li> <li>・防災講習会の開催(4.4万円)</li> <li>・危険マップの作成事業(1万円)</li> <li>・大中学生対象にAIを使ったデジタル体験会「アデコ(株)、(株)プリマジェスト(包括連携協定)」(0円)</li> <li>・大山口小学校花壇の花植え(5.6万円)</li> <li>・認知症講座開設「認知症について知ろう」(0.8万円)</li> </ul>
⑦【協議会設立前】(準備会) (a)特に注力した点とその理由 (b)これをやって良かった点 (c)今思えばこのようにしておけばよかった点とその理由	<p>(a)この地区の特徴としてトップダウン型で進めていくのが良いと思いつつ、やらされている雰囲気になると後が大変なので組織としては出来るだけ多くの人々を組織の中に位置づけた。</p> <p>(b)実際に活動する部会が4つとし、そこに本部の中核役員が各部会にも入り、その1つ総務広報部は全体を把握して情報吸い上げと情報発信するので繋がりが良かった。また1つしかない学校との連携をしたことで、この地区は独特な活動が生まれて来た。</p> <p>(c)IT技術を持つ人で、忙しすぎない人がいると、情報の発信やPR面で活発な展開ができるので、そういう人材を複数見出しておくとうい。そこがまだ弱いので。</p>	<p>(a)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規約作り・各役員と部会長の人選に苦慮した。</li> <li>・設立後の活動計画に沿った部会活動を託す為に、個人の特色を生かした人選。</li> </ul> <p>(b)特に思い当たる項目はありません。</p> <p>(c)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会の会長・区長を役員に入れておいたほうが良かった。</li> <li>・必ず自治会を通し、協力を戴く活動が60%を超える状況から情報の共有が必要になる、自治会組織を保持する活動に協力して行く事が大切だと思います。無くすことはできない。</li> </ul>	<p>(a)基本は、住民アンケート、ワークショップででてきた問題点、希望についてとりまとめ、最終的に事業計画に落とし込んでいきました。結果、総花的になってしまったので、特に注力した点はありません。</p> <p>(b)規約を将来、大きくなって制度が対応できるように、また草案時点でも変更の際に、概ね削除で対応できるように大きな体制を想定、詳細な規約にしました。今日まで規約の改定をせずに運営できています。</p> <p>(c)取り組み事項を決め、それをそのまま事業計画にしてしまったため、事業計画の事業が細分化されてしまった。こんなことの方が良いなどの希望も計画に入れてしまった。結果、できない事業がたくさんできてしまいました。</p>

<p>⑧【協議会設立後】 (a)計画通りできている点</p> <p>(b)計画通りできていない点とその理由</p>	<p>a) コロナ禍で実施できなかったことを除けば、昨年からは予算を付けたものは順調に活動できている。またコロナ禍に関係なく、防犯パトロールや広報の定期的発行などは最初からできている。</p> <p>(b) 具体的な予算は付けていなくて、少しずつ進めて行こうと考えていた防災や空き家のマップ、福祉情報センターの設置などは、時間をかけての調査等が必要になるので、後回しになりやすく、結局進んでいない。</p> <p>この地区は人口が少ないために補助金も少ないので、予算を付けられなくて活動している事も多くなるので、抽象的な目標にしている活動が進まない。</p>	<p>(a)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>協議会に5部会を設置し各部会それぞれが地域の特色を生かした事業内容を計画、部の会員も一つの部会だけでなく複数の部会に入会し行事ごとに、参加し楽しみを見つけて活動していることは大変良かったことと感じています。</li> <li>部会で計画し事業を執行する前に必ず役員会の承認を得なければならない、各部会での大きな事業は役員全員と部員で協力体制をとり活動している。</li> <li>毎月定例会議を執行している、</li> </ul> <p>(b)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>富士センター内に事務所を設置しましたが、会議に使用することが出来ないスペースのため、各部の会議・役員会議等が事前に日程を計画し、貸館の予約をし、各自の活動を執行している、貸館の費用も年間計画に食い込み予定外の状況。</li> <li>一般構成員へ情報の提供・情報システムが未開発。</li> <li>一般構成員からの事務所への連絡方法、電話の設置。</li> <li>小学校区の構成員から、【役員・部員】の人材確保の道筋。</li> </ul>	<p>(a) すでに構成団体で実施していることの延長にあるもの、例えば、大山口小学校花壇の花植え、防災訓練、新型コロナウイルス感染症のため昨年度準備はしたが中止し、今年度は開催された夏祭りが例になります。</p> <p>(b) 構成団体からみると全くとっかかりがつかめない事業については、まだ、実施ができていない。</p>
<p>⑨支部との関係性</p>	<p>活動の軸となる実質的な役員（総務広報に入っている）に、4部会の長、さらに地区長（自治会長）を加えた役員組織をして定期的に会合を持っているので、情報は流れるようになっている。ただ半面、各支部が独自に考案して活動する雰囲気弱い。ポトムアップ型にはなかなかない分、中枢の役員の負担が大きい。</p>	<p>まちづくり協議会の準備段階では各団体長の集合組織になっていた為、各団体長が出席して議論を繰り返してきた経緯の中で、各自治会長が全員役員に入ることは考えていない状況でした、その後準備会では様々な議論はしてきました、設立後、自治連合会支部長が役員会に入るように定例総会で提案し現在実行しています。又、自治連合第三小学校区支部の会議に、まちづくり協議会会長も参加するようになりました。</p>	<p>大山口小学校支部は、年に数回しか支部会を開かないこと、支部会の会長はまち協の副会長ですので、特に、重複したり、軋轢はありません。</p> <p>ただし、自治会・町会との関係という意味では、自治会によってまち協会議に出席する人が会長であったり、会長以外であったり、ばらばらであり、自治会の意見がまち協に戻ってくるのに時間がかかる。</p>
<p>⑩協議会ができたことによる効果</p>	<p>いろいろな活動が始まったことで、最初は余計な仕事が増えて大変だという意識もあったが、自助・公助の必要性をPRしながらどんどんやっているの、最近では声を掛けると率先してやってくれる人も出て来て、各地区長も理解を示してくれるようになってきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の所、目に見えた効果を挙げるのは難しいです。理由として、一般構成員もまちづくり協議会の存在と、協議会の活動内容をご理解していない方が多いと感じているからです。</li> <li>まちづくり協議会に係っている役員・構成員についてはお互いに協力体制が充実してきた様に感じています。</li> </ul>	<p>自治会の構成員は自治会員であり、まち協の構成員は地区に住む・通学通勤する人ですので、夏祭りの場合、大山口では合同夏祭りを開催していましたが、非自治会員への案内は当然ありませんし、夏祭りに来て拒否はされないまでも、あくまでも部外者でしたが、まち協主催の夏祭りは皆さん平等です。</p> <p>また、大山口小学校区は、自治会のない、住民全てを対象とする自治会のない地域が1000戸以上あります。また、自治会の多くは会員が減少してきていますので、まち協のような組織は、大切になります。</p>
<p>⑪南山協議会設立に向けてアドバイス</p>	<p>最初はまちづくりの理解が浸透していないので、理解が早くできる人材を発見するために、人間関係、信頼関係を作っていく事が大切。発見したら長く関わってもらえるように導く事。また部会分けしても、またがって興味ある人もいるので、常に全体に声を掛け、複数参加もOKにしておき、逆に無理に参加を命令しない事。欠席も認める。反感を持たれて噂になるとやりにくくなる。</p>	<p>まちづくり協議会そのものは急ぐ必要もなく、無理をする必要もなく、活動している皆様が楽しく、心地よい行動がおのずと地域を巻き込んでいけるものと考えております。</p> <p>又、年間予算を超えてまでの事業はできないことと、準備会ではより多く話し合いを重ねることを推奨致します。</p>	<p>個人的意見ですが、外野の意見に左右されたりせず、10年20年の長いレンジで運営していくのが良いと思います。</p> <p>また、計画については、企業の経営計画同様、何をしないかを明確にしておくことが重要かと思います。</p>